平成１９年　六郷神社９５０年大祭　神楽（かぐら）　演目

６月９日（土）演目

【午後の部】　　都合により変更する場合あり

1	天の浮橋（あめのうきはし）	イザナギ・イザナミによる神産み・国産み。 最後に生まれた火の神によりイザナミは死んでしまう。
2	黄泉醜女（よもつしこめ）	イザナギは黄泉の国で、黄泉醜女と変じてしまったイザナミを桃の精に退治させる。
3	禊祓い（みそぎはらい） （禊三筒男（みそぎみづつお）　墨之江大神（すみのえのおおかみ））	イザナギが黄泉の国で穢れた体を清めると、 墨之江大神（住吉三神）が現れる。 （さらに天照大御神とスサノオが生まれる）

【夜の部】

4	神逐蓑笠（かみやらいみのかさ） 言い付けの場 勘当の場 仲直りの場	天照大御神に、稲荷神から五穀を貰ってくるよう命じられたスサノオは稲荷神を殺してしまう。スサノオは天つ国を追放（勘当）され、天照大御神は岩屋に籠ってしまう。　五穀の種を持ち帰らず、保食神を斬った須佐之男命を天照大御神は詰問し、須佐之男命が高天原を奪おうとしているのではないかと疑い、厳しく追及します。困惑した須佐之男命は天児屋命の機転で一度は逃げますが、後を追ってきた天照大御神に取り押さえられてしまいます。

６月１０日（日）演目

【午後の部】　　都合により変更する場合あり

1 2 3	山海交易 言い付けの場 取り替えの場 けんかの場	お馴染みの海幸彦・山幸彦の神話をもとにしたお神楽です。 木花之佐久夜毘売命（このはなさくやひめ）は邇邇芸命（ににぎのみこと）の御子を身籠もりますが、邇邇芸命から疑われます。怒った木花之佐久夜毘売命は産屋に籠もり、産屋に火を放って燃えさかる火の中で火照命（ほでりのみこと）、火須勢理命（ほすせりのみこと）、火遠理命（ほおりのみこと）の三人の御子を産みました。 兄の火照命は海で漁をして暮らしていましたので海幸彦といい、弟の火遠理命は山で狩りをして暮らしたので山幸彦といいます。

【夜の部】

4 5	山海交易 竜宮の場 和合の場	龍宮にやってきた山幸彦は、綿津見神に手厚いもてなしを受けますが、ふと釣り針のことを思い出してため息をつきます。山幸彦の悩みを知った綿津見神は、豊玉彦を呼び出し、海中の魚を集めて釣り針を探すよう命じます。赤目が釣り針を飲んだことを知った豊玉彦は暴れる赤目と戦い、釣り針を取り返します。　綿津見神（龍神）は海幸彦を懲らしめるために潮満珠（しおみつたま）と潮干珠（しおひるたま）を山幸彦に授けます。すると、そこへ海幸彦が現れ、山幸彦に攻めかかります。山幸彦は潮満珠と潮干珠を操って海幸彦を懲らしめ、海幸彦は山幸彦の家来になることを誓うのでした。
6	天孫降臨（てんそんこうりん）	天照大神の孫、ニニギの命が中つ国に天下る。迎えに来た国つ神猿田彦はニニギの命に随行してきたウズメと夫婦となる